

津久戸

7月号

 令和6年6月28日
 新宿区立津久戸小学校

ウェルビーイングの向上

副校長 清水 敦子

みなさんは、どんな時に幸せだと感じるでしょうか。

2023年に閣議決定された第四期教育基本計画のコンセプトの一つに【ウェルビーイングの向上】が掲げられています。このウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的によい状態にあることをいい短期的幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの」ということです。

日本社会に根差したウェルビーイングの要素は、
 ○幸福感 ○学校や地域でのつながり ○協働性
 ○利他性 ○多様性への理解 ○サポートを受けられる環境
 ○社会貢献意識 ○自己肯定感 ○自己実現
 ○心身の健康 ○安全・安心な環境
 などが挙げられており、これらを向上させていくことが重要だと言われています。

本校では、自己肯定感を高めることや、協働性を育むことなど個人が獲得達成する能力などの向上を目指した学習はもちろんですが、地域の方にご協力いただいている生活科や総合的な学習、図書ボランティアの方による読み聞かせ、地域の企業の方とのクリーン運動などの活動を通し、人との関係性やつながりに基づく力を育成することに取り組んでいます。

さて、夏季休業中には、本校の地域協働学校運営協議会主催の防災キャンプが開催されます。地域主催のこのような活動に児童が参加することで、地域の一員としての自覚や地域愛が育ち、前述したウェルビーイングに繋がる要素の芽が育っていきます。今年の夏季休業中は、ウェルビーイングの向上を少しでも意識して過ごしてみてください。

「あなたは、幸せですか。教師であるあなた自身が幸せであることで、子供たちによい指導ができるのです。」これは、私の尊敬する先生からいただいた言葉です。子供たちのウェルビーイングを高めるためには、教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要になります。子供たちの身近にいる家族、教師、地域の皆様と信頼関係を築き、学びの土壌や環境をよい状態に保っていくことで子供たちのウェルビーイングの向上に生かしていきたいと思えます。

河口湖移動教室を終えて

6年担任

今年度、6年生は初めて河口湖へ移動教室に行くことになりました。6月10日からの2泊3日、梅雨の時期に掛かってしまうことだけが気掛かりでしたが、女神湖での経験もある子供たちは、準備もスムーズに進めることができました。

1日目は都留市で林業体験。グループごとに6本の木を間伐しました。のこぎりを引き、ロープを木に掛け、力いっぱい引いても中々倒れない木に悪戦苦闘したり、インストラクターの方にたくさん質問したりする姿が見られました。夜はバーベキューに舌鼓。露天風呂やワイン風呂に浸かり、ぐっすり寝て疲れをとりました。

2日目は午前中に風穴・氷穴を見学した後、午後は河口湖でカヤック体験をしました。パドルの扱い方を学んでから二人組でカヤックへ。思いがけない方向へ行ったり、なぜか後ろ向きになったりしながら、リーダーの旗を目指して必死に漕ぎました。(陸で見守って下さった看護師さんによると、皆カルガモのようで可愛かったそうです。)最後は湖を一回りして帰るほど、上達目覚ましい子供たちでした。夜はレク係が準備した遊びで大いに盛り上がり、興奮冷めやらぬまま床に就きました。

最終日は忍野八海と湧水の里水族館・博物館・さかな公園へ行きました。一番盛り上がっていたのはじゃぶじゃぶ池での水遊びだったかも知れません。熟慮しながら選んだお土産を手し、一路新宿へ向かう子供たちは、皆満足そうでした。3日間、大きなけがもなく、体調を崩す子もいなかったことが何よりでした。

ICT活用について

情報担当

昔から言われていることではありますが、「スマホやゲームをやりすぎないように」とよく聞きます。では、その基準はいったいどれくらいの時間を見ていたら見過ぎなのでしょう。実はこの問いを多数の方に向けて聞いてみると、回答が揃うことはほとんどありません。子供によって、家庭によって大きく変わってしまうからです。たとえ1日3時間以上使っていたとしても、自分のことがしっかりできている場合もありますし、逆に30分程度でも使ってしまうと、やるべきことが疎かになってしまう子もいます。適切な向き合い方は一概に同じとは言えないので、改めてお子さんと話し合ってみてください。

さて、4年前に文科省がプログラミングを必修化し、「ICTスキル」を小学校のうちから身に付けることを目標に打ち出しました。この「ICTスキル」という言葉ですが、細分化するとどんなスキルの事でしょうか。情報モラルの事や検索能力の事、プログラミング能力やタイピング力等が挙げられますが大切なのは「ICTスキル」を活用して、学習に活用していくことです。活用能力を高めるために、タイピングソフトやプログラミングソフト、自分の考えを発表するソフトなど、タブレットでいろいろ挑戦してみてください。

【学年の窓から・・・1年生】

1 組担任

6月から5時間授業が始まりました。新しく午後にも授業を行うことへのどきどきと、昼休みに友達と遊べる喜びを、嬉しそうに話している姿が印象的です。

登下校、朝の支度、連絡帳を書く、給食当番、家庭での宿題への取り組みなど、自分でできることが増えてきました。「一人で学校に来られるようになったよ。」「ひらがながどんどん書けるようになってきた。」「おたまもしゃもじも上手く使えたよ。」と報告する姿を見て、日々の成長を感じます。

一人一人の力が身につく中、授業や休み時間での関わりを経て、友達との仲も深まってきました。道徳の授業では、友達の良さについて考える際に、「○○さんは、いつも楽しい気持ちにしてくれます。」「△△さんは、困っていたらいつも助けてくれます。」と、振り返って話していました。友達の良さを見つけ、一緒に過ごすことの楽しさを知り、交流がどんどん広がっています。これからも、友達に優しく、のびのびと明るく、楽しく勉強、遊びに励むクラス作りを目指していきたいと思います。

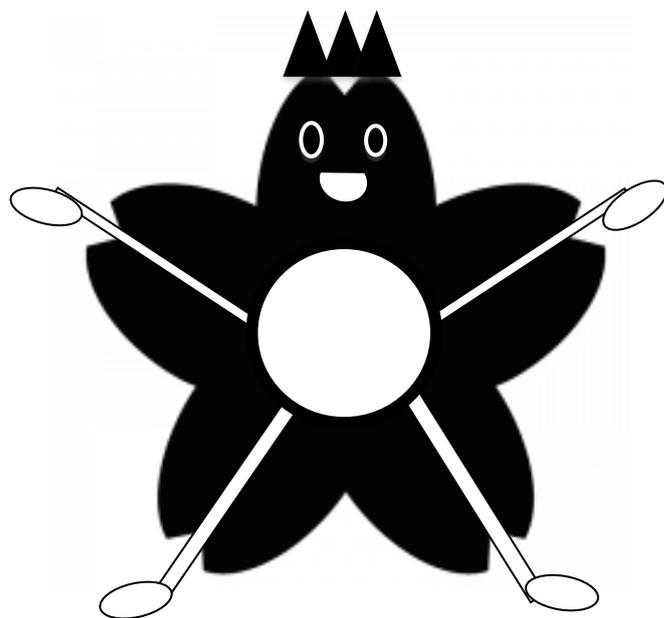
2 組担任

子供たちが入学して約3か月が経ちました。日々、できることが増えていく姿に、子供たちの成長を感じています。

初めは学校生活の流れやルールを覚えるのに一生懸命だった子供たちですが、最近は学校生活にも慣れ、当番活動や学習に自信をもって取り組めるようになりました。友達や先生の話はしっかり聞くと意識をもつことができている、とても頼もしい1年生です。

生活科の学習では、あさがおを育てています。子供たちは、毎日「先生、つるがこんなに伸びたよ!」「つぼみができたから一緒に見に行こう!」と、たくさん話を聞かせてくれました。何色の花が咲くか待ち遠しくしている姿を見ていると、あさがおを愛情もって育てていることがよく伝わります。

これからも、ワクワクする学習を子供たちと一緒に作っていきます。



7月の生活目標

『身の回りのものを大切に使おう』

- ・教室や廊下をきれいにしよう。
- ・みんなのものを大切に使おう。
- ・後かたづけをきちんとしよう。
- ・学期のまとめをしよう。



熱中症予防のため、水筒の中身は多めに持たせてください。ミニタオルやハンカチなども忘れないようお声掛けください。また、冷房のあたり方は座席によって差があるので、寒さを感じるようでしたら、脱ぎ着しやすい上着も持たせてください。

今月は、自分の物に名前を付けて大切に使うことも指導します。そして、自分の持ち物だけでなく、みんなで使う物を大切に使う心も育てていきたいと思っています。ご家庭でも、持ち物に対してのお声かけをお願いいたします。

(生活指導部)